

# 日韓シンポジウム

## コロナ禍の基礎教育保障の現状と展望

新型コロナウイルス感染症のパンデミックは、識字・基礎教育の現場にも大きな影響を与えています。基礎教育保障学会と韓国の全国文解・基礎教育協議会は、2017年から継続的な交流を重ねてきました。今回、コロナ禍における両国の状況や現場の創意工夫についての意見交換を目的としたオンラインシンポジウムを開催します。厳しい状況の中でも、元気をもらいたい、希望につながる時間になりたいと思います。

司会 森実(大阪教育大学名誉教授)

報告 日本側 棚田洋平(部落解放・人権研究所)  
新矢麻紀子(大阪産業大学)  
韓国側 ムン・ゾンスク(プルンオモニ学校)

指定討論 日本側 添田祥史(福岡大学)  
韓国側 チェ・ゾンボク(古康総合社会福祉館)

通訳 金侖貞(東京都立大学) 肥後耕生(豊岡短期大学)

【日程】2021年 **12月18日(土) 14:00~17:00**

【会場】ZOOMによるオンライン開催

【申込方法】右下のQRコードを読み取り、申込フォームから参加登録をお願いします。

もしくは、[こちらをクリック](#)してください。応募メ切 2021年11月30日

【定員】300名(申込多数の場合は、主催・共催団体の会員を優先します)

【主催】JPSS 科研費 基盤研究(C) 18K02350

【共催】基礎教育保障学会、全国文解・基礎教育協議会

【お問い合わせ】soe@cis.fukuoka-u.ac.jp (添田)

オンライン開催  
無料



申込フォーム